

件等を有効に活用し、将来にわたって安定した行財政運営、さらには将来にわたって安心した市民生活が送れる、次の世代に誇れるまちづくりの礎を築きます。そのためにも、私はあらゆる面で「セールスマン市長」として自ら全国に向き、このつくばみらい市をPRしていきます。

4 将来を展望した広域的なまちづくり

つくばみらい市は、首都40キロ圏内に位置し、交通アクセスにも優れています。東京に近く、つくば市にも隣接するという地の利を生かすとともに、この交通アクセスをさらに強化し、優良企業や先端産業等の誘致を進めます。

こうした政策目標を実施するため、政策ビジョンを「子どもたちに誇れるまちづくり」とし、7つの政策の柱を中心に市政運営を進めます。

1 市民との協働によるまちづくり

市政の主役は市民の皆さんです。市民の皆さんの思いが市政に反映され、そして市民の皆さんと作るつくばみらい市を目指します。そのためにも、市民と行政との協働はもちろんのこ

また、TX効果でみらい平駅周辺を中心に人口も増加しており、住宅や商業施設の整備も進んでいます。適正な土地利用の

誘導や道路・公園などの基盤整備を推進し、市民が快適でゆとりを実感できるまちづくりを進めます。一方で、当市は豊かな自然環境と、美しい田園風景や農村空間が広がっています。自然と開発のバランスの取れたまちづくりを進めます。

5 市民の生命と財産を守り、安心・安全な環境づくり

多発する犯罪の防止に力点を置き、万が一の事件事故への対応策を整え、地震や台風などの大規模自然災害にも慌てることのない、誰もが安心かつ安全に暮らせる環境づくりに努めます。

また、地元医療機関と積極的な連携を図り、市民に信頼される新たな医療システムを構築して、24時間安心した生活ができる環境づくりに努めます。

6 人財の育成と市民の明るさがあふれたまちづくり

私は、国の発展を支えるのは人、まさに人は国の財産「人財」です。将来のわが国や地域を担う子どもたちを育成するため、教育の充実は不可欠です。

子どもたちの規範意識を育み、他人を思いやる心を養い、心豊かでたくましい人財を育てる教育を推進していきます。特に、郷土の偉人「間宮林蔵」や「野口英世」、「ナイチンゲール」など、歴史上で偉業を成し遂げてきた人の姿を学ぶ「偉人伝教育」をとおして、子どもたちのチャレンジ精神などの育成を図っていきます。また、スポーツをとおして老若男女が集い、そして語りあえるコミュニティあふれるまちづくりを進めます。

2 保健・福祉サービスの充実した、人々のふれあいあるまちづくり

少子化・高齢化社会に対応するためには、市民同士が支え合える地域社会の実現です。お互いを尊重し、生きがいを実感できる、思いやりと優しさにあふれたまちづくりを目指します。また、市民が笑顔で、健康に暮らせるその姿は、何にもまして市の宝です。市民が健康で笑顔

あふれるまちづくりを進めます。

3 基幹産業である農・工・商業の振興を図り、まちに活力とにぎわいの創出

つくばみらい市には、全国に誇れるさまざまな資源があります。こうした資源を有効に活用するとともに、バランスのとれた、次の世代が夢を持てる産業

7 行財政改革を推進、市民サービスの向上

民間の発想を生かした行財政運営への転換を進めながら、良質なサービスを迅速かつ効率的に提供し、創造的で市民主体のまちづくりを進めます。

これまでの民間経営のノウハウを行財政運営に取り入れると

いうことで、ややもすると採算性事業の切り捨て、言い換えれば行政サービスの低下、と心配される声が聞こえてきます。私は、より良質な行政サービス、そして市民が真に求めている行政サービスを提供するためには、これまでのムリ（無理）、ムダ（無駄）、ムラを民間経営のノウハウから徹底的に無くし、市民目線での行政サービスの提供に努めます。

今回の選挙では、各候補者がそれぞれの選挙公約を掲げ、市民の皆さんに訴え、結果、私が多くの方の皆さんのご支持を頂きました。民主党代表選において、菅直人代表が代表選の後に「ノーサイド」と言われました。私も全くそのとおりです。これからは基礎自治体として、自ら考え、自ら実行する時代。全市民が丸となって、同じ方向さへ向いていければ、例え厳しい局面があろうとも、必ずやそこには明るい未来が待っている、と確信しています。

全市民が参画した、新しいつくばみらい市を創っていくようではありませんか。議会の皆さん、市民の皆さん、どうかご理解とご協力をお願い申し上げます。